

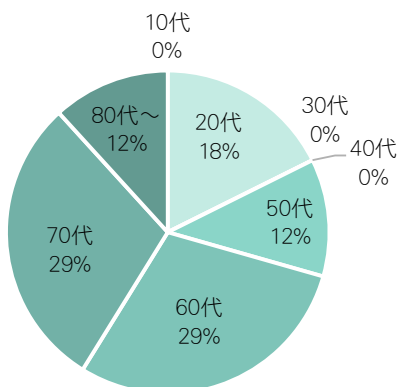
アンケート集計(一般)

実施日:平成30年11月10日(土) 土佐清水ジオパーク構想審査結果報告会
平成30年11月14日(水) 土佐清水ジオパーク講演会

総サンプル数 32

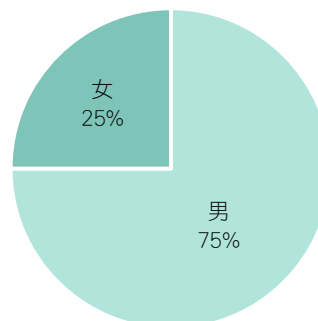
年齢

(サンプル数17)



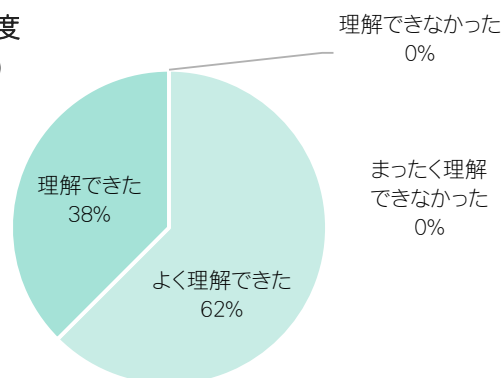
性別

(サンプル数12)



講演の理解度

(サンプル数22)



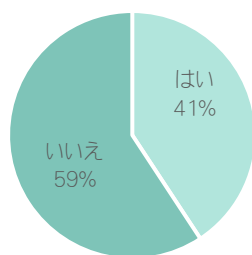
1. 今日の講演で印象に残っていること(11/14のみ)

| | |
|----|--|
| 1 | 講師の方の熱意がしみじみと肌で感じた、良い時間を過ごせました。 |
| 2 | 当たり前だが、すごい実践家。知識が豊富で内容が密でおもしろい。「ジオパーク」とは何かという |
| 3 | 当たり前の景色が面白く見えるようになる。ジオパーク学習(地域のこと) |
| 4 | 福島氏の経歴でNPO法人活動で収益を上げて、持続可能な活動を目指している点 |
| 5 | 大地と人と自然の間には必ず「つながり」がある事を意識する |
| 6 | 大地、人、自然のつながり なぜ、なぜと疑問にもつことが第一である |
| 7 | 大地とのつながり(地域すべてが)があり、その恵みで生活していること |
| 8 | 桜島のことについて |
| 9 | 「なぜ」を大切に、地元のことを再度みなおす事が大切 |
| 10 | ジオパークが必要と思った |
| 11 | 大地、農漁業、歴史一人とのつながり |
| 12 | あたりまえの影色がおもしろく見えてくる |
| 13 | あたりまえの景色が色々な事を学んでストーリーを知って見ていくと楽しそうに見えてくるとの事。楽しく見えるように色々な事を知ってみたいです。 |
| 14 | 大地と人と自然にはつながりがある |
| 15 | なぜ?を見つけるようにする。“どうして”土佐清水はあるのか 誕生から今日までのなぜを考えたい。つながりは多くの事を学ぶと思います。 |

2. ジオパークの重要な理念のひとつである「持続可能な発展」とはどのようなことだと考えますか？

| | |
|----|---|
| 1 | 地質遺産を文化や歴史を全て含んで考えていくこと。教育も全てを含んでいくことではないか |
| 2 | 地域の生活環境が観光的環境保全につながることを、地域住民の活動と繋いで発展させる。農村漁業と自然を保全し、利用した産業 |
| 3 | ひとりでは出来ないことでもみんなですると前に進めていける。皆で考えながら、楽しみながら、清水にある資源を発進していきたいと思います。 |
| 4 | 何も特別なことではなく、土佐清水市がこのままで活動できることだと思います。全てにおいて地域の人々の活動が大事になってくると思います。 |
| 5 | 人口減少日本において、自治体の立場から考慮すると、中・長期的には限界自治体の予防策としてだと思う。市民全体に影響のあるサステナブルな発展としてジオパークを活用して、土佐清水をより魅力的な街にしていき、人口減少問題を解決してもらいたい。 |
| 6 | 昔の人が繋いできた今あるものをより良い形で50年後、100年後へ残していくための活動だと思います。 |
| 7 | 無理のない範囲、方法で様々な分野の関係者と連携しながら次世代へ伝えていくこと |
| 8 | 大変意義深い言葉ですが、それぞれの役割のなかで持続可能な社会づくりに貢献できるかを考えること |
| 9 | 活動が後世にも伝えられるよう、若者にも伝えていくことが必要と考えます |
| 10 | これまで地域でやってきたことを、ジオの概念で結びつけ、一つの方向として(ベクトル)やっていくことを考える事が必要ではないか |
| 11 | 我々の地域の今後を考える上には、これまでのこの地域の特異な地形等も含めた文化の流れを知ることから始まる。ジオを知ることが今後のことを考える上で重要となると思われる。*これまでジオの意味を理解しておりませんでした。申しわけありません。 |
| 12 | 土佐清水市に限らないがこれまで数十年に渡り、日本の各地各地に人々が住み、環境と調和し徐々に変化しながら[持続可能な発展]をとげて来たと言える。こう見ると目指すものではなく、これまでであったもの。しかし、激動的な科学技術の発達等の流れをよしとし、短期間に人の生活環境が全く変わってしまい、どこにいても(地方でも都市でも)とても住みづらいものとなった。各地域地域にこれからも住み続けるにあたり、これまでしてきた「持続可能な発展」とは、どんなものであったのか、見えるかたちにする、その背景はこういったことがある(地質、地理、歴史、文化等の専門視点もいれて)今の利便性も一定取り入れながら過去から学ぶことではないかと思えます。 |
| 13 | 何事にもあきらめることなく前に前に進んで行くことこそが大切ではないでしょうか |
| 14 | 結果(現実)は原因があつてのこと、考えると今を将来につなげていく努力が必要ではないか |
| 15 | 1、まず人が楽しめる 2、お金が落ちる 3、世代交代が可能 |
| 16 | 地域発展の最も重要なことである |
| 17 | 地域にあるものを活用し、その地域で生活できる地域を目指す |
| 18 | 何世代にも渡って引き継ぐことのできる |
| 19 | 大地一人一自然について、常に考えている。また疑問があれば、調べて、皆と一緒に考えること |
| 20 | 土佐清水市には必要と思います。 |
| 21 | 住む人が知る。まずは地域の人から知ることから外へ発進することだと感じました |
| 22 | 無理なく皆で楽しみながら地域活動ジオ活動をしていく |
| 23 | 自分たちが楽しんで、生活していくことが次の世代の人へ繋がっていくと思います。 |
| 24 | 市民が土佐清水のお宝を大切に守ること、そして少しずつでも活動することです。 |
| 25 | 自然資源を守りながら社会を発展させる(世界を変える為に17の目標)SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS |

3-1 突然ですが、SDGsをご存知ですか？



3-2. SDGsについて

| | |
|---|--|
| 1 | 詳しくは知らない。土佐清水のSDGsに目を開こうと思います。世界を変えるための17の目標、国連の持続可能な開発目標。特に自然資源、自然災害、気候変動、教育、科学、文化、女性、持続可能な開発、地域の先住民の知恵、地質保全の10分野 |
| 2 | 行政が行なう持続可能な開発目標 |
| 3 | 自分に関わる身近なことについて考えていきたいと思っています。 |

| | |
|----|--|
| 4 | 高知龍馬空港において、室戸世界ジオパークの再審査に向け、中川先生のスライドの中にもあったSDGsの17の目標のポスターを見て少し調べてみた。私の仲間の先生の中には、ジオパークは岩、地質でしょという先生がいたが、残念でした。ジオパークとSDGsの強いつながりをアピールしていくことの重要性を感じた。 |
| 5 | 持続可能な開発目標、17個の目標(細分化された項目あり) |
| 6 | 持続可能な発展を目指すうえでの基準 |
| 7 | 1、地域内でSDGsを達成→2、地域間連携→3、広域SDGs狭く初めて成功体験が大事と思う |
| 8 | 教育を含めた組織的な取り組みをいかにしていくのか |
| 9 | 持続可能な社会(地域)づくり |
| 10 | 1つ1つのプログラムはとても身近な事で自分達から発信しながら、皆で考えていきたいと思います。 |
| 11 | 少しだけ知っていますが、もっと知りたいです。 |
| 12 | 国連の持続可能な開発目標(SDGs)はユネスコ世界ジオパークは自然資源・自然災害・気候変動・教育・科学・文化・女性・持続可能な開発、地域と先住民の知恵、地質保全の焦点のなかの一つで達成する取り組みをしている。 |

4. ジオパークは地域の教育にどのような役割を果たせると思いますか。

| | |
|----|--|
| 1 | 忘れていた生活の歴史、文化を全てのものを尊重する |
| 2 | 生活を自然と調和して見る。防災を考える。農林漁業を考える。 |
| 3 | とても重要だと思います。清水大好き、郷土愛を育むことは、清水のジオを知ることから始まると思います。学校教育の中で、地域の中で自分たちの文化・地質・歴史など知っていくことは、とても大切だと思います。 |
| 4 | 地域力の向上について大切な役割を果たせるとは思いますが、地域によつての違いがわかれば、尚良くなっていくと思います。 |
| 5 | 建築教育で私の先生がよく言ったことはリンカーンの言葉です。I like to see a man proud of the place where he lives.(私は自分の住んでいるところに誇りを持っている人に会うのが好きだ)建築土木は人が創る自然(大地)であるので、建築・土木も含め、郷土教育に大いに役割を果たせると思う。 |
| 6 | ①まずは自分たちが住んでいる地域を知ってもらう ②地域に入って、地域の人とコミュニケーションをとり、おじいちゃんおばあちゃんと話をする。 ③地域の人から地元の料理などを教えてもらったり、昔話や昔の遊びなどを一緒にする。 ④日ごろからの挨拶やコミュニケーションができるようになる ⑤地震などの際にも、津波から避難する時に超えかけ、手助けができるようになる。(高齢者も子どもたちがいるから一生懸命逃げる) ⑥自分たちの地域を大切に、将来へつなげていく力がそなわっていく。 |
| 7 | 自分が暮らす地域の成り立ちを学び、生活・文化・歴史を考えることで郷土愛を育み、そこで暮らし続けたい、あるいは、市外へ転出せざるを得ない状況が生じて直接・間接の貢献をしたいという思いを根付かせ、持続可能な社会の実現につながると思う。 |
| 8 | 防災と科学など生きのびるための手法を手に入れることができる。地域の特性を理解をすることで、新たな価値を見出す事ができる。 |
| 9 | 地域を守るべき人材を育てるには、この地域の成り立ち(ジオ)を知ることが大事。その上で、この地域を外へ売り出すこと、守る事が出来るような人材を育てる事になると思う。教育を受けるべき人は市民すべて我々老人を含めであろうと思われる*本日の会は大変参考になりました。こんな会に出たのは初めてですが少しでも多くの方々にこんな会に出席してもらうことが大事だとも思います。 |
| 10 | この地域で培ってきた「持続可能な発展」の具体的な、いろいろなもの、コト、その背景歴史を学ぶことは自分の住む、この場所を意識的に評価できるようになる。自分がここで生きることの意味、肯定感を持つ。次世代にどう伝えるか考えるようになる |
| 11 | 歴史文化の継承。伝統(地域によって様々)を守り伝えていく。 |
| 12 | 地域の文化、歴史を知る為の重要なツール すべての子供がカリキュラムに参加する仕組みを早急に |
| 13 | 地域の文化歴史の保全につながる活動となる |
| 14 | 地域に住む若者の増加が期待される |
| 15 | 子供たちが住んでいる町を知る機会にもなるし、今後の課題や改善点を考えることもできる |
| 16 | 自分の育った場所がどの様に形成されたか、また農作物や海産物等との関係を調べることにより、地元の良さを考えるきっかけになるのではないかと |
| 17 | 今日の福島先生の中学生への講演は素晴らしいと思います。 |
| 18 | 教育の量だけでなく、つながりを意識した学習の基礎となる |
| 19 | 地域の資源を知る事で色々な付加価値を付けていける、その見方を養っていけると思います。 |
| 20 | 地域のお宝を知り、それについて皆で話し大切にしていく。地域から出た人達も、このふるさと大切に思えるものであってほしいです。 |
| 21 | 地域のなぜを考える、歴史文化このなぜを考えれば大地のことや生活のことが考えられるようになるのでは |

5. ジオツーリズムについて

ジオパークは地域の観光にどのような役割を果たせると思いますか。また、今後ジオパークとしてどのような観光を目指していくべきだと思いますか。

| | |
|----|--|
| 1 | ジオパークにより観光、地質、文化、歴史とその地域の全てのものを利用して地域振興へとつなげる |
| 2 | 海と山はつながっている。川や小川(谷川)も、田畑と自然の中、鳥になった目で地域を見よう。施設だけが観光ではない。 |
| 3 | 観光については生かしていくことはもちろん、重要なことは長い間に渡って、この自然環境を保つ活動を企画と作製し、取り組みを持続力を鍛え上げて、総てに取り組みそのことを生かすこと。 |
| 4 | ジオパークが観光を潤うようにならないと先生がおっしゃられたことが印象に残っています。観光計画が進めば人口減少、雇用も計れるのは事実だと思うので、二次的に効果があればと思います。 |
| 5 | ジオは、今までの観光に一石を投じることができるものだと思います。観光とは言っても、一部のもの(竜串や足摺といった有名な観光地など)しか目に入りません。しかし、ジオパークは土佐清水市の全てを知ってもらうことができと思っています。外国人観光客は日本人観光客が行かない(知らない)観光スポットを知っています。それは、普段から私たちが良いものとわからないものを全然別のところから来た人がみたり体験すると素晴らしいと思うものがあるかもしれません。そのような場所やもの、食材などを探し出し、楽しく知ってもらう観光が必要だと思います。 |
| 6 | 観光地域作りに市民のやる気は必要不可欠だと思う。ジオパークの考えのもと、いかに持続可能な観光地域にしていくかを地域で考えていく材料になると思う。 |
| 7 | 観光は幅広い分野に波及効果をもたらすことができる。食べてあげれば一次産業、提供に関わる三次産業、宿泊であればネンや清掃など、これらをジオパークという柱でかさをかけることで統一感や付加価値をつけることができると思う。 |
| 8 | 新たなジオ散歩の開発 ドローンの活用 |
| 9 | ジオパークガイドの講習を通じて考えて行きたいと思います。 |
| 10 | 土佐清水には、色々な世代の観光客か、色々な楽しみ方を求め、観光に来ていただいており、その場面場面でジオストーリーが伝わるしくみができていけば、より満足を感じてもらえるものとなる |
| 11 | 今のままでは難しいと思います。ただし、この土佐清水市はどこにも負けない自然豊かな場所が数多くあります。このすばらしさを活かした方々を市民の皆さんと考える必要があると思います。 |
| 12 | 地質にこだわらない、こだわり過ぎない、広がりつながりが重要 食、歴史、自然体験をトータルで伝えるための、人づくり、組織づくり「来た人、地域の人が楽しい観光地づくり」をめざす。 |
| 13 | ①交流人口の増加→②多様なメニュー③エコツーリズムを |
| 14 | たくさんの方が来てくれる |
| 15 | ジオパークという認定にこだわるより、地元の人たちに良い場所おすすめの場所を聞いて、良い所を選定していくことが必要。 |
| 16 | どうしても、土佐清水市の発展維持に必要と思っています。 |
| 17 | 地域の人が理解ある取組 |
| 18 | ジオパーク 観光の視点が変わると思います。 |
| 19 | 観光はなんぞや、現存するものなぜを楽しく掘り下げれば楽しい地域になるし、多くのなぜを楽しく深す事ではないか。全てが繋がっている事に気付けた |

6. あなたの描く土佐清水ジオパーク像は？どのようなジオパーク(地域)にしたいですか。

| | |
|----|--|
| 1 | 地元を愛する人々の意識を向上させる。観光とはもっと奥深いものではないか。教育を皆で努力しなければと思います。ジオ(大地)の説明だけでなく、全てを含んだものに皆でしなければと思います。(皆でやっているバラバラのものを一つに) |
| 2 | 自然と調和した生活環境を維持あるいは改善。一部土木工事で水生物が失われているので、回復。※高齢化により地域の生活環境の維持が難しい。 |
| 3 | 土佐清水市地区の全体をネットワークでつなげ、その地区の特色を生かした事柄を企画してその相互作用が高まるようにすることが清水全体を引き上げていけると思います。 |
| 4 | 土佐清水に住んでいることに誇りに思える市民が えるためのジオパークであってほしいと思います。 |
| 5 | 色々な人、場所、もの、文化…など一つひとつがつながり、また、土佐清水だけでなく、他のジオパークの地域や人もつながり、クラスターのようなジオパーク ○若い人がもっと参加してくれるジオパーク 目指せジオガイド青年部！(笑) |
| 6 | 防災とジオパークを結び付ける |
| 7 | 一次産業である、漁業、農業、林業とのコラボを通して地域の良さを見つめなおすことが重要であると思いま |
| 8 | 活気あふれる老若男女の協働する地域 |
| 9 | 誰もが住みやすい地域 |
| 10 | 定着型 みんなが楽しめる地域 |
| 11 | テーマが大きすぎます |
| 12 | たくさんの方が来てくれる |
| 13 | 総合テーマパーク 地域の人が楽しんで暮らし、その暮らしを他所からの人が共に楽しめる場所にしたい |
| 14 | 下ノ加江の歴史を語る時、海岸の岩や地層だけの説明でなく大地の成り立ちや、なんで下ノ加江となったのか全てが繋がっている事がなんで～。なぜ～を楽しみたい |

7. その他自由にご記入ください。

| | |
|----|---|
| 1 | 清水のジオは、もっと清水を知る必要があるのではないかと。外も大事だが、市内の事もまず知りたいと思いません。清水をネットワークに向かって発信しよう。時間をかけ楽しんで続けよう。スローガンは良いが、バラバラの力では良いものは成り立ちません。役所の目線を変えるべきだと思います。 |
| 2 | 市街地においても国道の草刈が不十分。交差点が草だらけ。観光的にさびれた町のイメージが強く、丁寧さやおもてなし間が失われている。年1・2回の草刈(行政まかせ)では不十分。せめて街中の主要道路、観光バスやツーリングバイクの通る交差点などを。 |
| 3 | 室戸世界ジオパークセンターがあるので、それにあたるものが建築としてあると良いと思う。例えば水族館の一部にできるとか(もう構想があるのかもしれませんが)また、建築もジオパーク構想によりクローズアップされると良いと個人的に思う。 |
| 4 | 中ノ浜の忠魂墓地に津波記念碑が建っています。ジオパーク活動を機に後々までも、これらの碑を守って行く方法が与えられればうれしいことです。 |
| 5 | 大きく感想を二つ持った。1コは「ジオを目指す必要があるの？」清水の町の課題として人口減町の存続だろうと、その意味では一人1人が向き合い考えるものとして集まって考える。市民の意識の高まり一町をどうするのかということが高まらなければ難しいのかな。清水の良さを地域の学習として、しっかり教育していくことが大事な市民がそれぞれの生活で他者と関れることが継続的にジオ活動になるかなと感じる。2コ目は「ジオ認定になってもいいのでは？」一定クリアしなければならない基準はあるとして、認定後に伸びる事だってあるはず「100%の認定力」でなくても、認定されてより推進していくことだってあるのかな。認定基準にしても毎年のジオパーク活動の在り方で変わっているとしたら毎年難しい 担当者のみなさん、ご苦労さまです。 |
| 6 | ジオと食文化のつながりを明確に位置づける新たな価値(大岐の昭葉樹など)の開発 |
| 7 | 土佐清水市の起爆剤となるように頑張っていきたいと願っています。 |
| 8 | 1、全国のジオパークの組織の取組みをベンチマーキング 2、よい取組みはすべてやる 3、どこもやっていない事は何か？土佐清水しかできないことをやる |
| 9 | 今後は地域に多くあるよう願います。月1ではなく |
| 10 | 室戸の件宜しく願い申し上げます |
| 11 | 今回の先生が宗田節について少し話されプランクトンがのぼる場所があるからと言われて、あ〜と思いました。海底の地図は大切ですね。 |
| 12 | 楽しい”なんで〜”を探したいものです。☆ネットワークはその地域の楽しいものを多くなれば自然に広がるのでは。多くの”なんで”を探すことからやりたい。 |